

# 幸せになるための総合学習

## 教育チーム 報告

メンバー(あいうえお順)

おゆき

とも

ピカ

ひとみ

まゆ



# ◎私たちの疑問

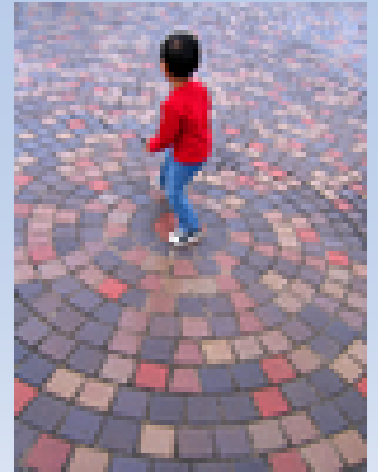
私たちは毎日一生懸命生きています。  
ひょっとして子ども時代から、毎日一生懸命。

こんなに一生懸命なんのために生きているのだろう  
と誰もが一度は考えるでしょう。

あなたは幸せをかんじていますか？  
周りを見渡してみて……みんな、幸せそうですか。

～子どもたちは、  
元気に喜びに満ちて幸せそうにしているでしょうか。

～大人たちは、  
生気に満ちて、幸せそうにいらしているでしょうか。



日本は、私たちの祖父母、父母の努力により経済大国になりました。GNP(Gross National Product=国民総生産量)は世界でもトップクラス。

物質的には豊かです。しかし…

GNH(Gross National Happiness=国民総幸福量)

はどうか？ という話題が近頃良く聞こえてきます。



ところで……

GNH(Gross National Happiness=国民総幸福量)って

なんでしょう？

っていう質問が前回ありましたのね……

## GNH(Gross National Happiness=国民総幸福量)とは

GNP(Gross National Product)のもじりです。

ブータン国王が、持続可能な国家建設を達成するため「GNH＝国民総幸福度」を追求すると宣言しました。1970年代のことです。

君主制のブータンにはこれまで憲法がなく、採択に向けて準備を進めている真っ最中です。2005年に提出された憲法草案に、実際にこのGNH宣言が盛り込まれました。

**GNH研究所というところもあります。気軽に参加もできるようです。**

「僕らの社会はどこへ向かって歩いているのだろう…」

GNHは、私達が進むべき社会のあり方に対してある方向を示している。経済成長を追及し続けた先達たち。その功績は大きく、多くの人々は「物質的な豊かさ」を満喫することを知った。だが現在、多くの人々はその生きる意義や価値を見失い始めている。「貧しくとも心豊かであればそれなりの幸福感のある社会が実現できるのではないか」。GNHは、現代社会に対しての「次世代への羅針盤」である。

<http://www.gnh-study.com/htm/happiness/concept.php>

「GNH is more important than GNP」

1976年12月、スリランカのコロンボにおける第5回非同盟諸国会議に・出席後の記者会見席上での、現国王Jioeme Sineey Wanechukの言葉。

HAPPINESS: 幸福、幸せ;喜び, 満足;幸運  
GNH=国民総(幸福、幸せ;喜び, 満足;幸運)

直訳: 「国民総幸福量」は「国民総生産量」よりも重要である  
解釈: 「幸福の価値を認識し、世界に示していこう」

「Four Pillars(4つの柱)」

1998年の10月30日から11月1日まで韓国ソウルで行われた国連開発計画(UNDP)の・アジア太平洋地域会議(Millennium meeting for Asia and the Pacific)席上での・ブータン王国首相(当時)ジグミ・ティンレイ(Jigmi Y.Thinley)のスピーチ。

### 1. Sustainable and equitable socio economic development

社会経済学的

支持できる、維持できる、耐えうる、  
立証できる、環境を破壊しない

公平な、公正な (fair) 正当な (just)  
もっともな

直訳: 持続可能で公正な社会経済発展  
解釈: 信用性のある立証に基づいた「理想」を追求

### 2. Conservation of the environment

(資源、運動、文化財などの) 保護、管理、保存  
(その地区[森林、河川]恒存)

直訳: 環境保全  
解釈: 自然環境の保存/社会環境の研究および整備

### 3. Preservation and promotion of culture

維持・保存      促進、進級

直訳: 文化の保存と推進  
解釈: 文化保護、文化再生(レネッサンス)

### 4. Good governance

管理・制御

直訳: 適切な管理  
解釈: 恒久的システム作成、啓蒙、情報発信、一本化

参考 GNH研究所

<http://www.gnh-study.com/html/happiness/concept.php>

世界には経済に関係なく、活気に満ち溢れ、  
幸せを感じながら暮らす人々が  
たくさんいるように感じます。

もし同じ人間である彼らが  
私達にとっての理想的な幸せを持っているのならば…  
いったい何が違っているためでしょうか。

私たちのグループでは  
この答えの一端を教育の中に見出し、  
研究することにしました。



# ◎どのように活動していくか



1. まずは現場ありき  
～ 教育機関と呼ばれる学校を訪ねてみよう。
2. 教育関連のシンポジウムをたずねてみよう。
3. 異文化の中の教育を学んでみよう。
4. ユニークな活動をしている人たちから  
彼らの教育に対する考えを聞いてみよう。
5. 教育とは何なのか？  
～ 自分と仲間たちのバックグラウンドも考えてみよう。





# 【現在までの活動記録】

◎10月13日(土)

場所:お茶の水

内容:グループメンバーたちの受けてきた教育を話し合った。

◎10月27日(土)

場所:学校法人東京シューレ学園  
東京シューレ葛飾中学校

内容:学園祭

『葛飾シューレ祭～なんたって 大葛祭～』を見学





◎10月28日(日)

**場所: 藤野シュタイナー学園**

**内容: 学園祭を利用して見学。**

**進学相談室で先生から説明を受けた**



シュタイナー学園  
について

「芸術としての教育」を通じ、知性・感情・  
意志の調和した真に自由な人間を育てる

芸術的な授業を通じ、  
美しさの中で学ぶ喜び

手・心・頭へと  
成長に沿って働きかけることで生まれる  
知性・感情・意志の調和

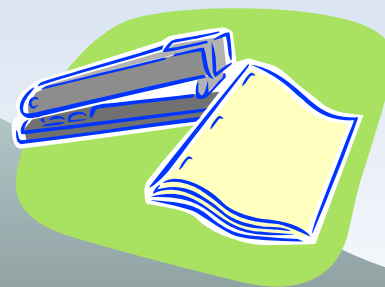
人や環境との暖かいつながり

## ◎11月3日(土)

場所: 在日本韓国YMCA(御茶ノ水)

内容: 多民族共生教育フォーラム2007東京プレ・シンポジウム  
『日本の学校/地域の中の外国籍の子どもたち』

在日中国人・コリアン・ブラジル人などの外国籍の子供たちの現状の困難さについての報告。日本語教育の充実と共に母語教育の必要性、学習支援の制度化、法制度の確立などを討論。



## ◎11月10日(土)

場所: 藤野シュタイナー学園

内容: 高校受験を考えている中学3年生向けに行われた模擬授業と入学説明会があり、模擬授業に特別参加させていただいた。

メソッドはすばらしくても、やはり現場の能力に左右されるのだというのが実感だった。

◎11月10日(土) ~16:00

場所:国分寺のカフェでうちあわせ

参加:トモ、まゆ、ひとみ、おゆき

- 底辺を広げる意味で、さまざまな教育に関連すると思われる団体を見学する。同時に、見学した団体の情報(本や卒業生のインタビューなど)を集め、つみあげをしていく。
- 団体だけでなく、活動家として興味深いと思った人物に自分史と教育についての取材をおこないたい。
- グループ内でのレポートの共有や保存について考える。



◎11月11日（日）13：30～17：00

場所：学芸大学

内容：日本教育制度学会第15回大会公開シンポジウム

『学校と地位の新しい関係づくりをどう進めるか

—これからの公立学校を考える—』

「普通という意味は公立なのか？」という疑問が湧いた

何が普通なのか？ シュタイナーの授業は普通だった。公立＝普通なのか



◎11月17日（土）14：00～17：00

場所：ひばりが丘駅 CASA

内容：自由学園見学予定だったが、先方の都合もあり、  
今後の打ち合わせのみとなった。

アカデミア14期の皆さんに教育に関するアンケートを  
とらせてもらうことを決めた。



◎12月15日(土)

場所: 自由学園見学

内容: ・生徒の自主性に基づく教育を行っている? という事で訪問。

・幼稚園・初等部・男子部(中・高)  
最高学部(大学)より構成。

・今回は主に女子部(中・高)を見学した。

生徒それぞれは学校の各係りを受け持ちグループ内の話しあい・責任でもって順次仕事をしていた。

この日は落ち葉拾いに精を出す生徒達を見かけた。





◎12月15日(土)

## 都立単位制高校見学

### ◆ ◎1990年代前半 都立高校の背景

- ◆ ■都立高校は私立に押され現都知事が就任する前はその実力も人気も落ち込んでいた。また中退の率も上がる一方だった。
- ◆ ■現都知事就任後、制度改革を推し進め都立高校は目覚しく変化した。数字上、都立高校の改革は大成功と言われている。
- ◆ 学区の撤廃。
- ◆ 各学校、そのコースまでに特徴を持たせる。
- ◆ 選択肢の拡充(現在都立は説明を貰って理解ができないほどの種類がある) など。

### ◆ ◎単位制高校の広がり

- ◆ ■1993年日本初めて単位制高校が都立高校として誕生した。
- ◆ ■現在では都内には4から5校ほどあり、また他県でも都立をモデルとした公立単位制高校ができてきている。

### ◆ ◎単位制高校の存在意義

- ◆ ■社会の多様化と学生の多様化にあわせる。

### ◆ ◎感想

- ◆ とにかく自由！！ 校則がない。6年在籍できるので、さまざまな経験をし、目的を見つけて卒業していく学生もいる。
- ◆ 生徒の自主性に任されている。
- ◆ 活気がある。
- ◆ 学校外とのつながりが見える(市民講座も単位として認められる)
- ◆ 異年齢とのつながりがある(構内を歩いている人の年齢層が厚い)

まだまだ他にも訪ねたかったいろいろな教育機関があります。

公立学校のあり方についてもっと見たかったように思います。公立学校の教育のあり方は国が目標とする姿・形を大きく反映しています。

多言語が存在するヨーロッパの中心にあるスイスは、その立地から言語教育は盛んであるし、紛争や独立問題を持っている国では、国歌を歌う事や国旗の掲揚を毎日行われています。反論を恐れずに言えば、アメリカでは“自分達はNO. 1である”ことを教えます。

日本の教育システムは1980年代まで奇跡の経済成長の最大の要因として世界の羨望の的でした。たとえその後ろには競争の激化という問題をはらんでいたとしても…… 1990年代日本では西洋の”自由・個人主義“を教育にも取り入れ、“ゆとり教育“が始まりました。そしてそれは失敗に終わり、昨今ではその教育を受けてしまった世代は”特別なケアが必要な世代“と言われています。

大学全入時代と言われて久しくなりますが、日本の教育はどうなりたいのでしょうか。

西洋文化に触れることなく今でも独自の価値観で教育を実践している場所(先ほどのGNHのブータンもそうです)と、自分の信念を強く持ち行動している人を紹介したいと思います。



◎11月24日(土)

映画『懐かしい未来：ラダックから学ぶこと』



内容：国際有機農業映画祭で、有機農業やグローバリゼーションに関する映画を観てきました。“幸せになるための教育”に関係のある映画が2本ありました。舞台はラダックです。

STORY: 昔ながらのスタイルで皆が幸せに暮らしていた地域に西洋文明が入り、人々の価値観が変わり、教育もかわる。何かの専門家になろうとする教育、同時に全体が見えなくなっていく教育。西洋文化の価値観の中で幸せを目指す教育。

やがて、この地区の人々の心は荒廃して、幸せだった地域も壊れていきます。家庭も崩壊していきます。

しかし数年後、地域は幸せを取り戻すために、さまざまな試みをはじめます。

教育は自分たちの文化に誇りをもてるもの、存在を確信できるものをベースに、その上に西洋的な勉強も重ねていくようになります。

◎11月9日（金）



こんな人が居ます “木を植える人” 中溪宏一さん

紹介 3年8ヶ月 日本中に木を植え続けている中溪宏一さんが仲間10人とまゆ宅に宿泊されました。国連から“Earth Walker”の称号を与えられているユニークな人物です。（詳細はHPで）

中溪さんの教育観：日本人が卑屈になってしまっている事、  
幸せに感じない事～教育と関係がある。

まだ日本人が誇りを持っていた頃、教育も違っていたはず、  
またもっと幸せだったはず。  
（教育とはこの場合学校に限定しない。）

# 今週、はじめての赤ちゃんが生まれた中溪さんが 語った教育観

自然に慣れ親しむ教育をしたいです。

それから、その自然は人間がコントロール出来るものでは決してなくて、人間は自然に生かされているということを知って欲しいです。

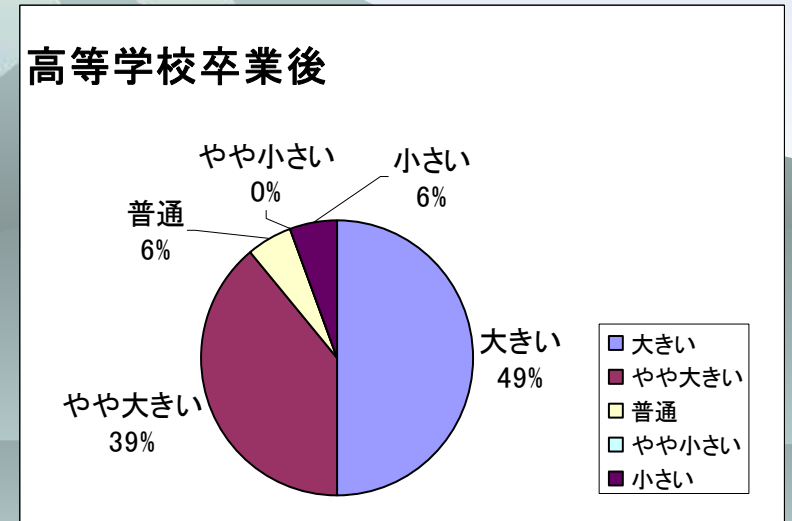
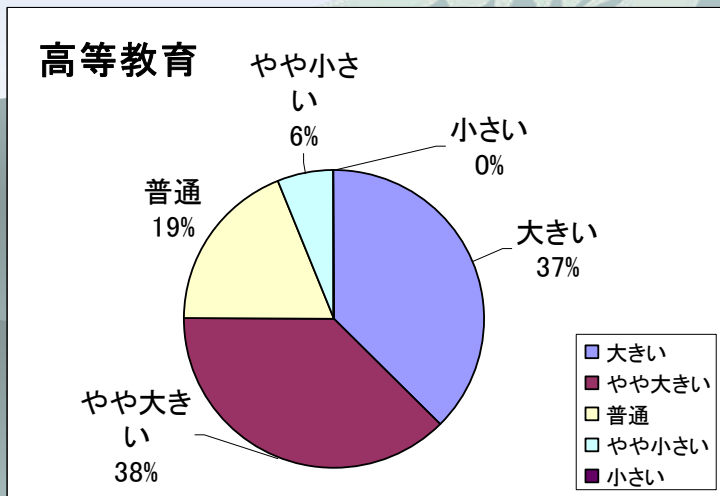
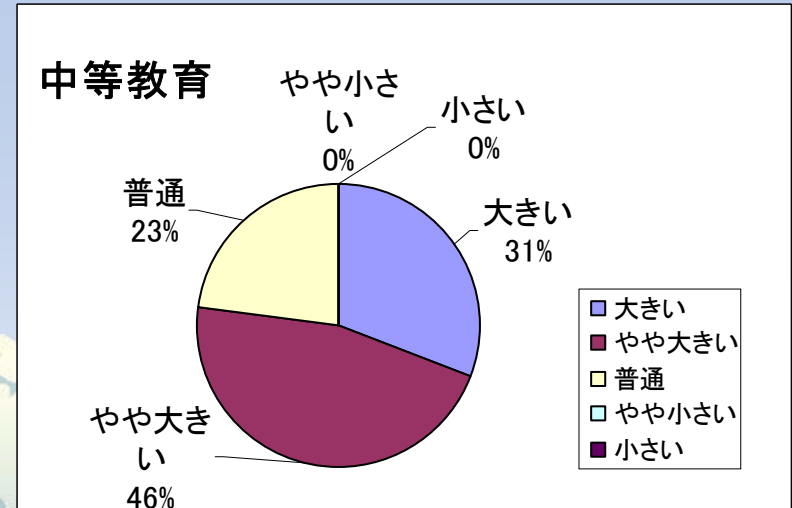
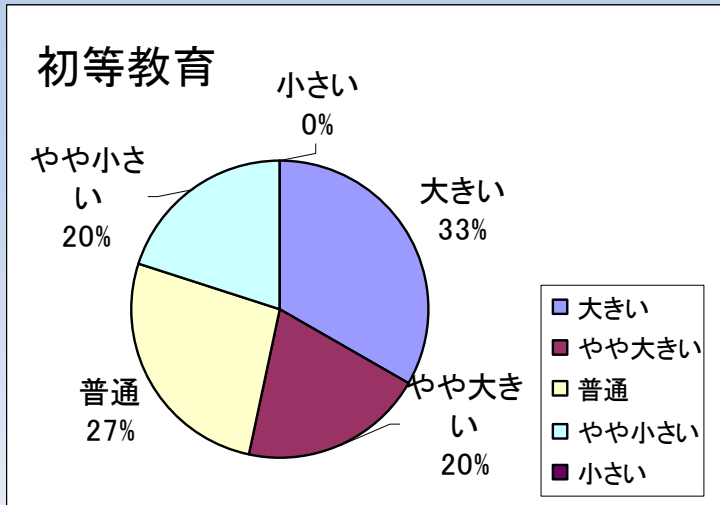
更に一步踏み込めるなら、(これは年齢と共に)日本人が持っている森羅万象に八百万の神々が宿るという考え方を心で理解出来るようになって欲しいです。

簡潔に言うと、これが僕の教育観です。

# アンケート結果

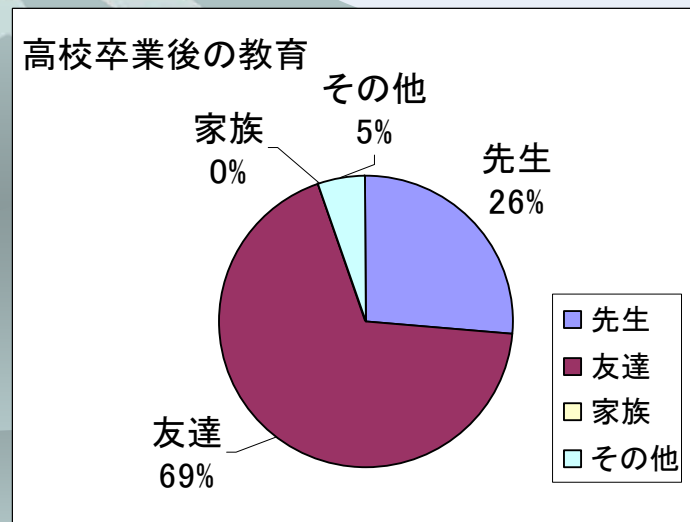
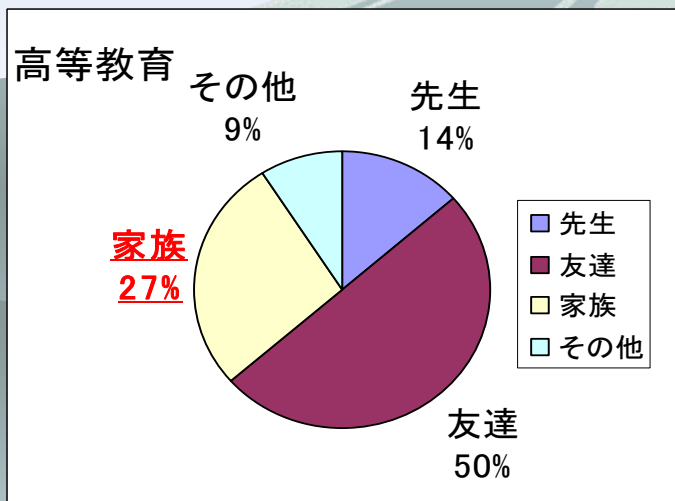
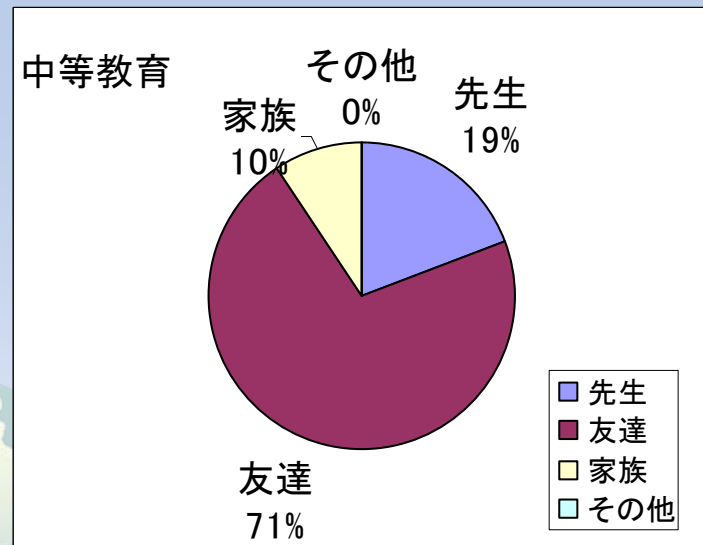
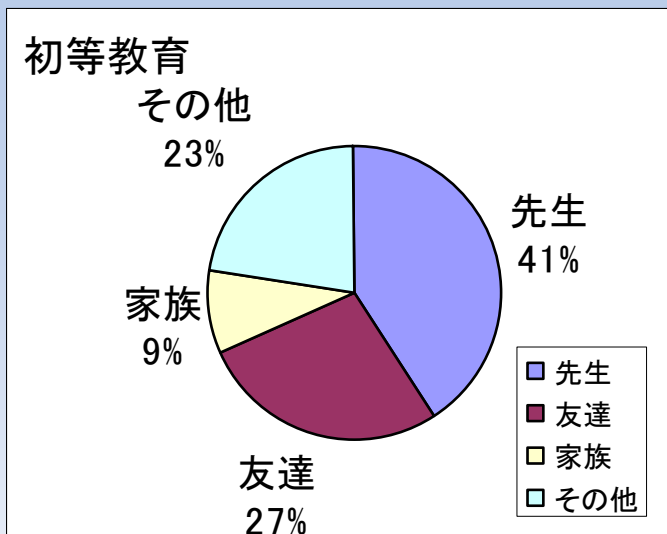
アカデミアンの受けてきた教育の傾向

# 自分の人生への影響



考察：年齢が上がるごとに、教育が自分の人生に影響を与えている傾向

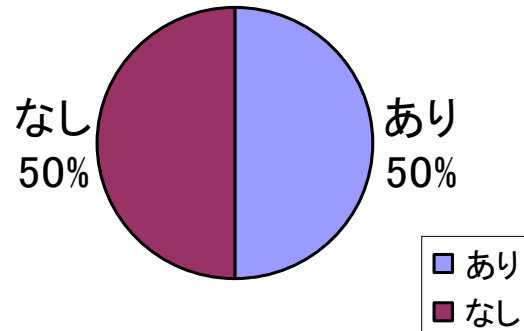
# 特に影響を受けたもの



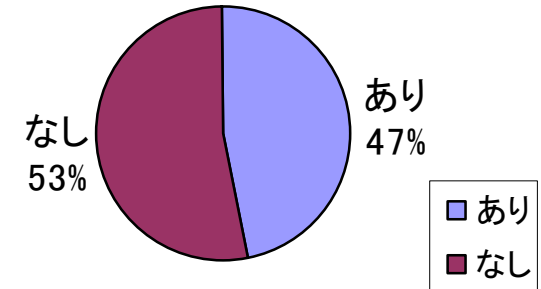
考察:どの年代でも友達からの影響は大きい、高等教育では家族からの影響も大きいことが特徴

# 恩師の存在

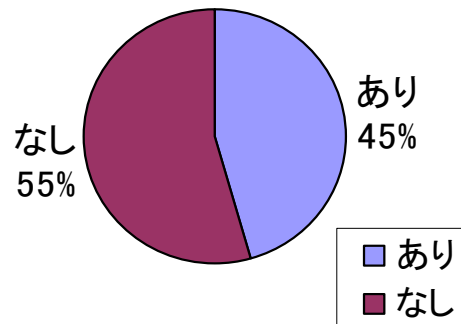
## 初等教育



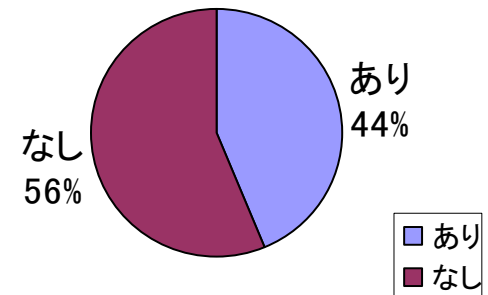
## 中等教育



## 高等教育



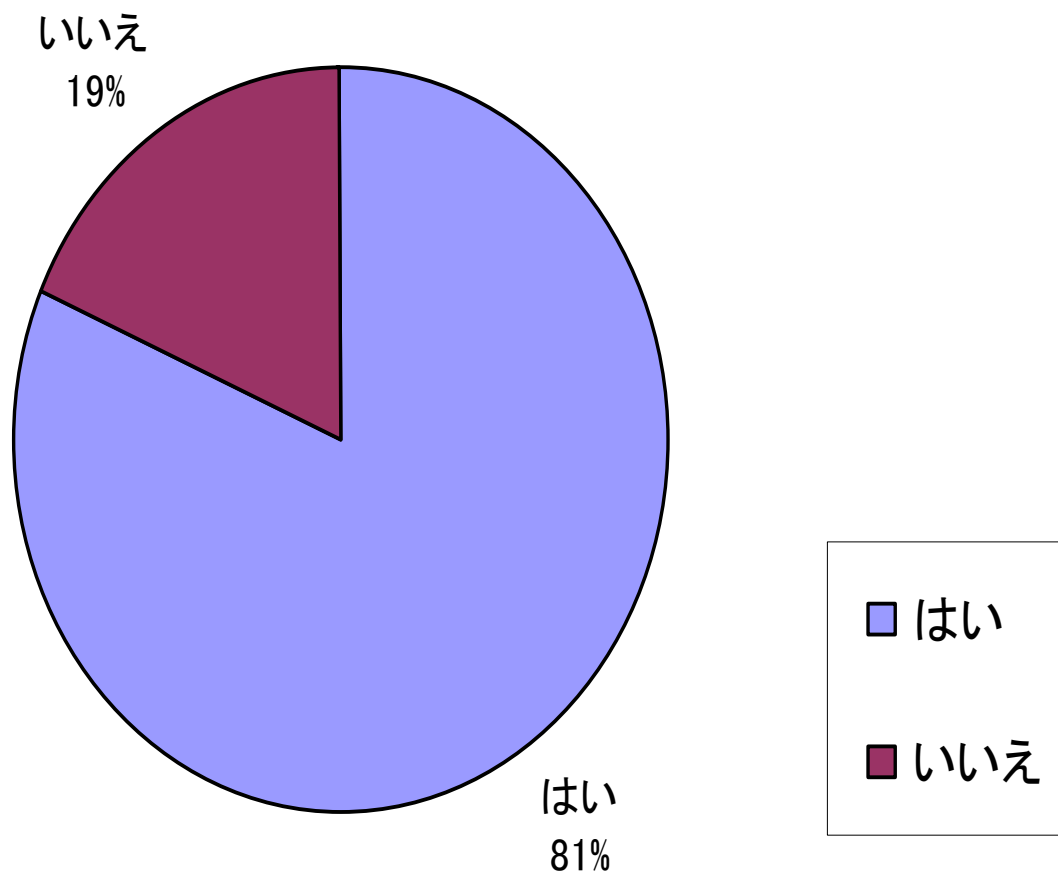
## 高校卒業後の教育



考察:どの年代でも恩師の影響の有無はほぼ半々に分かれた。

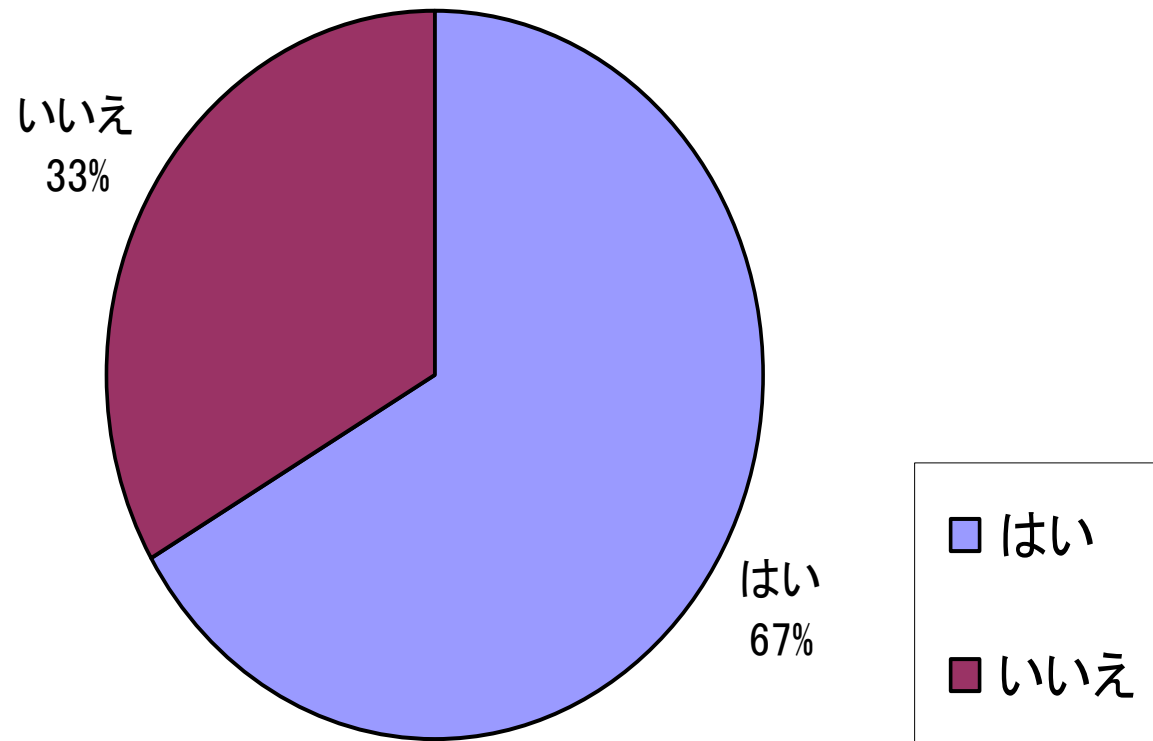


# 受けてきた教育は今に活きているか



考察：自分が受けてきた教育は今に活きていると考える人が多い

# 自分の子供に同じ教育を与えたいか



考察: 自分が受けてきた教育に対して肯定的な意見が多い

# 私たちの教育観



いろいろと活動する中で、  
メンバー 一人一人が 教育に関して興味を  
持つものが多様化してきています。

これこそが、ダイナミックに一つのテーマを考えるのに  
大切な事であると考えています。

これからも教育に関わるもので、興味を持った分野をそ  
れぞれが考え、学んでいくことでしょう。

メンバーそれぞれの教育観を発表します。

# 15歳へのメッセージ

## ・あなたは自由！

15歳は成人(昔は元服の歳)。決定と結果は自分の責任ということを知って欲しい。親の影響から離れて自分で人生を選ぶはず！

## ・冒険しろ！

実際に経験する事、体験する事が何より大切。すぐに諦めないで何でも積極的にチャレンジしよう！

## ・自分で善悪の判断ができるようになろう！

自分で何事も判断していくことで、責任も伴うことを学ぶ。若いのだから失敗を恐れるな！